

<認知症対応型共同生活介護用>  
<小規模多機能型居宅介護用>

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	項目数	8
1. 理念の共有		1
2. 地域との支えあい		1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用		3
4. 理念を実践するための体制		2
5. 人材の育成と支援		0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応		0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援		1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		5
1. 一人ひとりの把握		1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し		1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援		0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働		3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		6
1. その人らしい暮らしの支援		4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		2
合計		20

事業所番号	1471901338
法人名	社会福祉法人 三機会
事業所名	グループホームみうら富士
訪問調査日	平成22年12月18日
評価確定日	平成23年1月25日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

**○項目番号について**  
外部評価は20項目です。  
「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

**○記入方法**  
[取り組みの事実]  
ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
[次ステップに向けて期待したい内容]  
次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
家 族 = 家族に限定しています。  
運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

平成 22 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471901338	事業の開始年月日	平成14年4月1日	
		指定年月日	平成20年4月1日	
法人名	社会福祉法人 三磯会			
事業所名	グループホームみうら富士			
所在地	( 239-0842 ) 横須賀市長沢 6 - 4 5 - 6			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護  <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	9名	
		ユニット数	1 ユニット	
自己評価作成日	平成22年12月1日	評価結果 市町村受理日	平成23年2月23日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然環境に恵まれ、周りには畑・木立が多く四季折々の作物の状況を話題にして一日を過ごすことができる。同一建物の中にデイ・ショートがあり 同じ状況の方との触れ合いがある。ひとり一人の方の状況に応じて安心して入浴ができるように特浴を設置している。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成22年12月18日	評価機関 評価決定日	平成23年1月25日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

このホームの特徴  
 ①この施設の設立は横須賀市の要請に従いショート30床、グループホーム9床を持った社会福祉法人として認可され開設した。同じ建物内に居宅介護支援、デイ、ショート、訪問介護、在宅支援センターそしてグループホームがあり、いろいろな側面からのアプローチが可能な多機能性を備えている。これら6機能が入居するため建物の設備は行き届いていて、消防ではスプリンクラー及び直通電話の完備、消臭では空気清浄用オゾン発生装置、入浴ではデイに機械浴の完備、専門業者によるリネン対応など、グループホームの基準をはるかに上回る設備・対応が為されている。ロケーションはYRP野比からバスで10分程度の丘の中腹にあり、緑と桜並木、NTT通研のあるリサーチパークの付近に位置する。経営は三磯会で、短く明快な理念を職員で考えた介護理念10項目を展開し、介護の格言も掲げ、日々、それに沿った介護に努めている。理念、倫理等を纏めた小冊子「みうら富士.COM」を毎週木曜日に読み合わせをし、周知に努めている。施設に訪問すると、犬たちが歓迎してくれる明るいホームである。施設のホームページはソフトで親しみ易い構成となっており、愛玩犬の映像を見て相談に来られた方もいる。  
 ②地域との交流では、近所に民家が少なく、交流を持ちにくい環境であるが、広いエントランスホールがあり、デイ、ショートのご利用者や交流し、こちらでボランティアの演芸もあり、一緒に楽しむことが出来ている。また、運営推進会議や三浦半島老年福祉遊学会、グループホーム連絡会の複数事業所研修会等により地域との交流も広がっている。また、中学生の体験学習の受け入れや、地域のお神輿の休憩所の提供により、ご利用者がお神輿を楽しむことが出来る機会を設けている。  
 ③ご家族、利用者、職員とのコミュニケーションでは、年3回程度の家族会を、11時頃に集まり、一緒に昼食作りをして食事を囲み、おやつも出す等、皆で楽しむ機会を作っている。介護の方針については、入所時の生活歴のアセスメントを「みうら富士.COM」の精神で加筆し、居室担当による提案でカンファレンスを行い、職員は温かい見守りで利用者と共に喜ぶ、良い職場環境が構築されている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみうら富士
ユニット名	

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員全員で考えた理念に基づき一人ひとりの状況に応じた対応をし、共有している。	社会福祉法人三磯会の理念を基本に職員が意見を出し合い3年前に理念（介護10ヶ条）を作成し、実践の場に生かしている。施設のホームページはソフトな、親しみ易い構成となっており、愛玩犬の映像を見て相談に来られた方もいる。理念、倫理等を纏めた小冊子「みうら富士COM」を毎週木曜日に読み合わせをし、周知に努めている。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域とのつながりは事業所の立地条件で出来ないが事業所内のデイ・ショートとのかかわりが持てている。	地域との交流では、近所に民家が少なく、交流を持ちにくい環境であるが、広いエントランスホールがあり、デイ、ショートの利用者と交流し、ここでボランティアの演芸もあり一緒に楽しんでいる。また、運営推進会議や三浦半島老年福祉遊学会、グループホーム連絡会の複数事業所研修会などにより地域との交流も広がっている。中学生の体験学習の受入れ、地域のお神輿の休憩所の提供により利用者はお神輿を楽しむことが出来る。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	徐々に認知症キャラバンメイト養成講座等に参加し地域に貢献したい。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	推進委員になって頂いている民生委員さんが避難訓練や外出に協力して頂いているので、参考意見を活用している。	メンバーは民生委員2名を中心としてご家族2名とホーム関係者で行っている。会合年6回の実施は年間計画で決め、実施することになっている。ご家族のメンバー意見は十分取り上げている。また、民生委員の方々には避難訓練や外出に協力して頂いているので、参考意見を活用している。始めはホームの見学を行い、後は報告を中心に進めている。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要に応じ連絡をとり協力をしている。	横須賀市は福祉に熱心であり、グループホームを良くバックアップしてくれており、空室情報なども開示し、市民の便に供している。運営推進会議には市担当者も出席する予定になっている。グループホーム連絡会の複数事業所研修会など、地域との交流も広がっている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修に参加し職員は十分に理解している。玄関は施錠しておらず、事務員等の対応ができる。経管栄養の方には家族に理解いただきミトンを使用しているがほとんど拘束の意味なく、自由に取り外し遊んでいる状態です。	身体拘束をしないケアについては、研修等に参加し職員は十分に理解している。玄関は施錠しておらず、事務員等の対応ができる。この施設には広いエントランスホールがあり、デイ、ショートの利用者と交流し、ロビーが1つのコミュニティとなっており、閉塞感解消にも役立っている。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は十分理解しており、ホームの中での行動はお互い注意しております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見のケースで娘さんが後見人になられたケースがあります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分に説明しております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会の意見は尊重しています。又運営推進委員を引き受けてくださったご家族の電話番号をお知らせして直接ご意見を伝えていただけるようにしています。	家族会からの意見は尊重するように努め、運営推進委員を引き受けて頂いたご家族の電話番号をお知らせする等、直接ご意見を伺えるよう配慮している。年3～4回程度の家族会では、一緒に昼食を作り、食事をする機会を設けている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のミーティングで出た意見は100%取り入れています。	毎月ミーティングを開き、運営ケア全ての面で意見を出してもらっている。ミーティングは自由に発言できる体制で行われ、お互いの励まし等により、働く活力を生んでいる。ミーティングで出た意見は100%取り入るようにしている。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	グジョブカードの活用や、日々の勤務状況を把握しときに激励向上に向けてのアドバイスを行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修には必ず参加できるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	複数事業者を対象とした県の事業に参加し近隣の事業所の職員と研修を受けたり交流の場を持っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時のアセスメントを元に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時のアセスメントを元に行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時のアセスメントを元に行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事を一緒にとりできるだけそばに寄り添う介護に努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会時の声かけや、毎月のお便りで関係を大切にしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時間等制限せず、個人の携帯電話でのお付き合いをされている。	面会を制限することなく、交流することにより継続が来ている。地域との交流では、近隣が少なく、交流を持ちにくい環境であるが、ホームの広いエントランスホールでデイ、ショートのご利用者と交流する機会がある。玄関に公衆電話もあり、個人で携帯電話を持っている方も居て、お付き合いを継続している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	趣味や習い事が同じの方がおり、時間に関係なくお話を出来るようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去なさった方とごあいさつ状を交換している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	プランは出来るだけ本人主体に考えている。	介護の方針については、入所時の生活歴のアセスメントを「みうら富士.COM」の精神で加筆し、居室担当による提案でカンファレンスを行い、職員は温かい見守りで利用者と共に喜ぶ良い環境が構築されている。プランは出来るだけ本人主体に考えている。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時アセスメントを活用している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	夜間の状況等十分に把握している。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	プラン変更時ミーティングで検討している。	プラン変更時、ミーティングで検討し立案から変更モニタリングを行っている。居室担当制をとり、担当の入居者のアセスメントの提案をカンファレンスで行うようにしている。出来ること、出来ないことで出来ないことに注目し、それを行なえるよう支援している。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	支援記録・業務日誌等に記録し共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	少人数の為十分に支援出来ている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	お祭りへの参加等している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医と24時間連携が取れる。	入居時かかりつけの連携医の説明を行い、納得の上、主治医となり医療を受けている。かかりつけ医は月1回往診に来ており、インフルエンザの予防注射など健康管理も行ってきている。管理者が看護師であり、24H対応を実施している。精神科、歯科の往診も月1回受けている。皮膚科、耳鼻科も必要に応じ往診が可能である。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	事業所内に他部門の看護師もおり複数で対応できる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	サマリーのやり取りを行なっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状態により主治医より説明をうけ同意書提出して頂く。家族会で同意書については説明してある。	重度化については常々家族会等で話し合い、終末期の迎え方もその時期に状態により主治医より説明をうけ、同意書を提出して頂き、承諾を得て、看取りを考えている。家族会で同意書については説明してある。職員は、ご家族と同じように思っており、最後までお世話したいと云う気持ちの者が多い。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアル作成し連絡方法を把握している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練し連絡方法を把握している。	ここは水害の無い高台で、建物は耐火構造でスプリンクラーの設置あり、耐震構造になっている。鉄筋の堅牢な構造であり、火災用に消防車が使えろ水槽の設備があり、災害時に近所に貢献出来ると考えている。みうら富士全体としての備蓄を持っている。避難訓練をし、連絡方法も把握している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	失禁時のパット等目につかないようにして持ち運びしています。	職員は、ご利用者に対し、人生の先輩として敬って処遇している。失禁等の際、他の方には気付かれないように処置に配慮している。職員会議等で折に触れ、互いに注意し合うように努めている。	今後の継続	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	全室ナースコールを設置してあり、出来るだけ聞き取りに時間をかけています。	/		/
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	まったく強制していない。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	様子により美容院に連絡しカットをお願いしている。長さは本人まかせ。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	現在出来る方が居られないが、買い物にお連れしておやつ相談等出来る。	現在は重度化し、食事の手伝いや買い物の同行は出来なくなったが、できた時は一緒に行っていた。グループホーム本来の目的である、利用者の希望を聞き、一緒に買い物をし、独自の献立で作る体制は続けている。生協の食材や近所のスーパーから食材を仕入れ、バランスのとれたメニューであると栄養士にも誉めて頂いている。食事は担当の日のメニューを考えてきて、出来たものを利用者、職員と一緒に食べている。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	自分で摂取できない方は水分摂取量の記録をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアをしている。経管栄養の方は毎朝行なっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表をつくり時間を見計らい誘導している。	排泄チェック表を利用し、時間を見計らいトイレに誘導している。おむつをしない、パットを汚さない内にトイレに誘導し、事ある毎に、トイレの習慣をつけるよう努めている。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々チェックし下剤を服用する日を決めている。排便したことを忘れるため、トイレから出てきたとき直ぐに聞くようにしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	浴室の都合で曜日を決めているが、その他にも希望する時にはデイやショートの浴室を借りる。	浴室の関係で、ある程度曜日を決めているが、湯の温度・順序は個々の好みに合わせて支援している。浴槽は大きく、2人でも入れる。週2回、日を決めて入るようにしている。その他にも希望する時にはデイやショートの浴室を借りることもある。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	消灯時間は決めていない。冷暖房に気をつけ安眠できるようにしている。午後出来るだけ午睡をするようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬については全面的に管理している。症状の変化には充分観察主治医との連絡を取り調節している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	歌の好みの方が多くDVDで一緒に歌う事が多い。洗濯ものを畳んでくださる方もいます。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出できる方が少なくなったので、回数は少ないが徐々に計画して行く。	施設には大型の車があり、車椅子での外出をたまに計画し外出する機会を設けている。(年2~3回程度) 初詣には車で出掛けている。久里浜に階段の無い神社があり、お守りは必ずご自身で選んで買われる。桜の花見は小さい車で個別に行うようにしている。外出できる方が少なくなったので、回数は少ないが徐々に計画して行く予定である。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	近所に商店が無くお金を使う事が無いので所持していない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	公衆電話を設置しています。個人で携帯電話を持っている方もいます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	台所の光が入らないように、居室のドアのガラスに紙を張っている。室温は冷暖房で管理し、湿度は加湿機を使用しているが補助的に濡れタオルをかけている。	季節の様子が外の景色で感じられ環境にある。台所の光が入らないように、居室のドアのガラスに紙を張り配慮している。室内の温度・湿度の管理し、湿度は加湿機を使用しているが、補助的に濡れタオルをかけて空調に配慮している。リビングにはソファの席、広いリビングの空間を時々模様替えして工夫に努めている。床暖房の設備があり、ご利用者が居心地良く過ごせるよう配慮されている。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用部分にソファを配置しており好んで座っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自分で決定できる方はご自分の家具を持ってきていただいている。	居室は、好んで自室に暖簾を付け方や、作品を飾ったり、ご家族の写真や絵を掛けたりしてご本人の思いが尊重されている。自分で決定できる方は使い慣れた家具を持ってきて頂いて居心地良く過ごせるように工夫している。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全館バリアフリーになっており、火気はIHを使用している。トイレのマークも分かりやすくなっている。		

目 標 達 成 計 画

事業所 グループホームみうら富士

作成日

平成22年12月18日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
	48	介護度の差が大きく行動を同じに出来ず余暇時間が有効に使えない	各自が楽しく過ごせる時間を作る。	グループに分け、活動可能な内容を検討する。 好みを聞き取り、参考になる本で決定する。	約2ヶ月
	49	介護度の差が大きく外出の計画が出来ない	個人計画をたて個別外出をする。	グループに分け、活動状況により、行く先を検討する。 ボランティアの活用を考える。	約6ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。